

# 令和3年度技能検定

## 2級造園（造園工事作業）

### 実技試験（製作等作業試験）問題

次の注意事項及び仕様に従って、指定された区画内に施工図(P3)に示す四つ目垣製作、縁石・飛石・敷石敷設、築山及び植栽作業を行いなさい。

#### 1 試験時間

標準時間 2時間30分

打切り時間 3時間

#### 2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、寸法、数量等が、「4 支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 試験開始後は、原則として、支給材料の再支給をしない。
- (4) 使用工具等は、使用工具等一覧表で指定した以外のものは使用しないこと。
- (5) 試験中は、工具等の貸し借りを禁止とする。
- (6) 作業時の服装等は、作業に適したものとする。ただし、熱中症のおそれがある場合は、技能検定委員の指示により、保護帽(ヘルメット)は、着用しなくても構わない。
- (7) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (8) 作業が終了したら、技能検定委員に申し出ること。
- (9) 試験中は、試験問題以外の用紙にメモしたものや参考書等を参照することは禁止とする。
- (10) 試験中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の使用(電卓機能の使用を含む。)を禁止とする。
- (11) 工具・材料等の取扱い、作業方法について、そのまま継続するとけがなどを招くおそれがあり危険であると技能検定委員が判断した場合、試験中にその旨を注意することがある。

さらに、当該注意を受けてもなお危険な行為を続けた場合、技能検定委員全員の判断により試験を中止し、かつ失格とする。ただし、緊急性を伴うと判断された場合は、注意を挟まず即中止(失格)とすることがある。

### 3 仕様

#### (1) 四つ目垣

イ 丸太柱は、埋込み部分の防腐処理をしなくてよいが、天端は、切りそろえること。

ロ 胴縁は、元末を交互に使うが、末節止めとし、丸太柱にくぎ止めとすること。

ハ 立子は、末節止めとすること。

ニ 立子と胴縁との結束は、次によること。

(イ) 1段目と3段目は、シュロ縄を2本使いで裏綾掛けいぼ結びとし、しりをいぼの上端から20mmで切りそろえること。

(ロ) 2段目は、シュロ縄を2本使いで、左よりからみ結び(かいずる)とすること。

#### (2) 縁石、飛石及び敷石

イ 縁石及び飛石の敷設で寸法を指定していない箇所は、平面図のような感じになるようにすること。

ロ 敷石B、縁石(自然石)、縁石(石材又はコンクリート製)の仕上がり高は同一とすること。

ハ 縁石及び敷石は、平らに土ぎめ敷設すること。

ニ 掘り出した土(発生土)は、点線の範囲内の築山及び整地に使用すること。

#### (3) 築山

発生土を使用して、点線の範囲内に見映え良く設けること。

#### (4) 植栽

イ 枝ぶりを生かし、平面図のような感じになるように植栽すること。

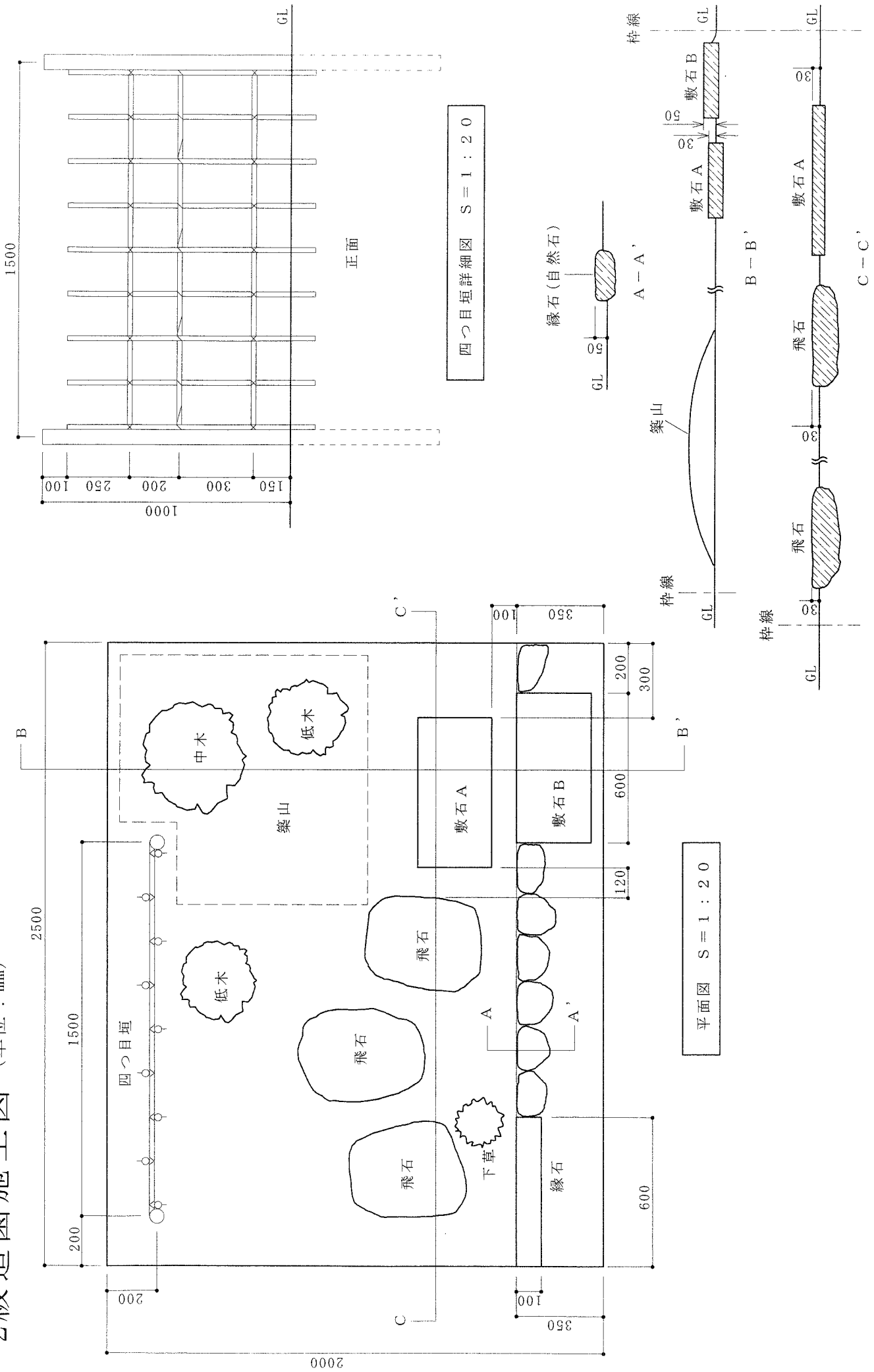
ロ 刈込みはしないこと。

ハ 植栽に当たっては、本来ならば水鉢を設けるところであるが、本試験においては、水鉢を設けないこと。

### 4 支給材料

品名	寸法又は規格	数量	備考
丸太	末口6cm、長さ約1.6m	2本	竹垣用
唐竹	15~20本じめ(4節上り、回り7~9cm)	4本	胴縁及び立子用
シュロ縄	径3mm、長さ25m (黒)	2束	
くぎ	長さ45mm	7本	予備含む
飛石	踏面35~50cm程度、厚さ10cm前後	3枚	
敷石	長さ60cm×幅30cm×厚さ6cm	2枚	石材又はコンクリート製
縁石	径15~20cm程度、厚さ8cm以上	10個	自然石(予備含む)
	長さ60cm×幅10cm×厚さ10cm	1本	石材又はコンクリート製
中木	H=1.5m	1本	
低木	サツキツツジ等	2株	
	H=0.3m、W=0.3m		
下草	ヤブラン・オオバジャノヒゲ等	1株	3芽立ち以上 コンテナ径10.5cm

# 2級造園施工図 (単位: mm)



## 2級造園実技試験(製作等作業試験)使用工具等一覧表

### 1 受検者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
巻尺		1	
のこぎり		1	
竹ひきのこ		1	
金づち		1	
くぎしめ		1	
木ばさみ		必要数	剪定ばさみも可
くぎ抜き		1	
きり	三つ目きり	必要数	充電式ドリルも可
木づち(このきり)		1	
こうがい板(かき板)	250~300mm	1	地ならし用
れんがごて		必要数	地ごても可
くぎ袋		1	
手ぼうき		必要数	
箕(み)		1	
水糸		必要数	糸巻も可
水平器		1	
スコップ	剣スコ	必要数	両面スコップ、移植ごて、手ぐわも可
きめ棒(つき棒)		1	
遣方杭(位置出し棒)		必要数	ピンポール相当品
作業服等		一式	
保護帽(ヘルメット)		1	
作業用手袋		1	使用は任意とする。
鉛筆		必要数	
飲料		適宜	熱中症対策、水分補給用

(注) 1. 使用工具等は、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

ただし、試験場の状態により、上記以外に持参する工具を指示された場合には、その工具を持参すること。

2. 持参する工具に計測できるような加工はしないこと。

3. 「飲料」については、受検者が各自で熱中症対策、水分補給用として、持参すること。

### 2 試験場に準備されているもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
バケツ(水)		適宜	シュロ縄用